

p.46 左 l.3 english is shown below in this page.

右 l.11 si, gajasiなどを含むものとする。

右 l.-4 の siotabura...

p.52 左 l.14 しかし被調査者がいずれも高令の地点であること。

左 l.-18 ^{《抹消》} があったが、関西で広く「seciben nay」(けち 齡)

p.55 左 l.6 koso, bai: → wai: の変化と相通じる。

左 l.-10 地点にはいずれもみられる。kucuwakaの子音の弱

《 p.58, 59, 57 は p.57, 58, 59の図版順序のまちがいである。》

p.62 左 l.33 域でも jakusai → jakekusai の変化ではない

p.63 右 l.-19 えることをはじめ、才変の場合は(老)には古形が東の

p.72 左 l.-13 ることから、その勢力の最も強力な時期にはAま

p.74 左 l.-11 またMGの地域ではkatakumaが他地域

p.75 左 l.3 sakaはkata系、taka系の中にあつて異色を放

右 l.2 には「かたぐ、担う、かつぐ……富山、石川、福井、

右 l.3 兵庫、中国とあり、西日本で広く用いられている

右 l.-2 の2語のみである。いずれもkumaの内部変化

右 l.-8 sakacubure → sakacuburi ↩

p.91 Fig.45 上端 NAMEKUZI slug 91

記号左上より namekuzi namekuzira

mamekuzi

p.92 右 末尾部 ということになる。[完] 《以下抹消》

上記各項の文章のうち《 》に入れたものは
訂正のための説明文であり、その他は不鮮明箇所・
訂正箇所の原文の抜き書きである。